

**第 10 回大気化学討論会プログラム**  
 東京大学先端科学技術研究センター  
 平成 16 年 6 月 23-25 日

**講演会場：4 号館 2F 講堂、ポスター会場：3 号館中 2 階**  
 大気化学研究会総会：4 号館 2F 講堂  
 懇親会：生産技術研究所食堂 1 階  
 軽食会：生産技術研究所食堂 2 階第 5 会議室

タイムテーブル

6 月 23 日 (水)	13:30-15:20	口頭発表
	15:35-17:55	口頭発表
	18:05-18:25	討論-温室効果気体
	18:40-20:40	軽食会
6 月 24 日 (木)	09:00-11:00	口頭発表
	11:15-11:55	口頭発表
	11:55-12:15	討論-人為起源の反応性気体・エアロゾル
	13:30-15:30	ポスターセッション - 奇数番号：13:30-14:30 - 偶数番号：14:30-15:30
	15:45-17:25	口頭発表
	17:40-18:25	大気化学研究会総会
	18:30-20:30	懇親会
6 月 25 日 (金)	09:00-10:40	口頭発表
	10:40-11:00	討論-炭素性エアロゾル
	11:15-12:35	口頭発表
	14:00-17:00	ポスターセッション - 奇数番号：14:00-15:00 - 偶数番号：15:00-16:00

**口頭発表**

- 一人当たりの持ち時間は **20 分（講演 15 分・質疑 5 分）** です。
- PC プロジェクターと OHP が利用可能です。PC は事務局で 1 台、用意しています。事務局の PC の使用を希望される場合には、必ず当該セッション開始前に発表用ファイルを PC に移しておいて下さい。OHP を利用される方は、事前にその旨を会場係にお申し出下さい。

**ポスター発表**

- 1 人当たりの使用可能面積は幅 **90cm**×高さ **200cm** です。
- ポスターの掲示可能時間は、**23 日(水)13:00 から 25 日(金)17:00** までです。
- ポスターの掲示にあたってテープが使用できますが、**鋏、ピン等は使用できません**。テープは事務局で用意しています。
- 掲示終了後のポスターは各自、お持ち帰りください。討論会終了後、残ったポスターは事務局で処分します。

**その他**

- 会場の建物(4 号館、3 号館)の入り口は 19:00 以降、施錠されます。19:00 以降、会場内へ入ることを希望されて施錠されている場合は、**先端研内事務局(03-5452-5146)**までご連絡下さい。

## 6月23日(水)

13:30-13:40 はじめに 東京大学先端科学技術研究センター所長・橋本和仁

### [口頭発表] (発表 15 分、質疑 5 分)

- 13:40-14:00 ○金谷有剛、曹仁秋、秋元肇 (地球フロンティア)、谷本浩志、横内陽子 (国立環境研)、定永靖宗、宮川祐子、加藤俊吾、梶井克純 (東京都立大)、持田陸宏、河村公隆 (北大低温研)  
2003 年 9 月利尻集中観測における OH/HO<sub>2</sub> ラジカル濃度の挙動：日中の HO<sub>2</sub> 実測濃度が低い理由
- 14:00-14:20 ○小杉如央、今井秀和、松本淳、梶井克純 (東京都立大院)  
レーザー誘起蛍光法による夜間大気中 NO<sub>3</sub>-N<sub>2</sub>O<sub>5</sub> の測定
- 14:20-14:40 田中健太、竹中規訓、○坂東博 (大阪府大院)  
沖縄辺戸岬における硝酸・NO<sub>y</sub> の連続測定結果
- 14:40-15:00 ○谷本浩志 (国立環境研)、高橋章 (電力中央研究所)、松田和秀 (酸性雨研究センター)、藍川昌秀 (兵庫県立健康環境科学研究センター)、大泉毅 (酸性雨研究センター)、野口泉 (北海道環境科学研究センター)、林健太郎 (農業環境技術研究所)、皆巳幸也 (石川県農業短期大)、原宏 (東京農工大)  
EANET で観測された日本における地表オゾンのクライマトロジー
- 15:00-15:20 ○Manish Naja and Hajime Akimoto (Frontier Research System for Global Change)  
Regional pollution and intercontinental transport: Are they influencing long-term changes in tropospheric ozone?
- <15:20-15:35 休憩>
- 15:35-15:55 森武史、○青木周司、中澤高清 (東北大院理)、川村賢二 (ベルン大)、藤井理行、渡邊興亜 (国立極地研)  
グリーンランドおよび南極深層氷床コア分析によって明らかにされた過去 11 万年にわたるメタン濃度の変動とその要因の推定
- 15:55-16:15 ○町田敏暢 (国立環境研)、松枝秀和 (気象研)、石川和敏 (JAXA)、友澤勝 (JAMCO)、菅原寿 (JAL)、中澤高清 (東北大院)、末永民樹 (日航財団)  
民間航空機を使った大気中温室効果気体の定期観測計画
- 16:15-16:35 ○石澤みさ、Shamil Maksyutov (地球フロンティア)、中澤高清、青木周司 (東北大院)  
日本上空 CO<sub>2</sub> 濃度の経年変動に関する数値シミュレーション
- 16:35-16:55 ○石戸谷重之、中澤高清、青木周司 (東北大院)、M. Bender、B. Mika (Princeton 大学)、遠嶋康徳 (国立環境研)

東北大学、Princeton 大学、国立環境研究所による大気中 O<sub>2</sub>/N<sub>2</sub> 比測定用標準 ガスの相互比較

- 16:55-17:15 ○遠嶋康徳、向井人史、野尻幸宏、町田敏暢（国立環境研）  
太平洋上における大気サンプリングから推定される APO の緯度分布
- 17:15-17:35 ○豊田栄、杉嶋亮作、吉田尚弘（東工大院）、町田敏暢、遠嶋康徳（国立環境研）  
波照間島における大気中一酸化二窒素アイソトポマー比の長期観測
- 17:35-17:55 ○井上元、横田達也、小熊宏之、日暮明子、森野勇、中根英明（国立環境研）  
温室効果ガス観測衛星(GOSAT)開発の現状

<17:55-18:05 休憩>

- 18:05-18:25 **[討論-温室効果気体]**  
ディスカッションリーダー：町田敏暢（国立環境研）、青木周司（東北大院）

<18:40-20:40 軽食会> 場所：生産研食堂 2 階第 5 会議室

## 6月24日(木)

### **[口頭発表] (発表 15 分、質疑 5 分)**

- 9:00-9:20 ○畠山史郎、高見昭憲、向井人史、三好猛雄（国立環境研）、王瑋（中国環境科学研究院）  
中国—東シナ海—沖縄を長距離輸送されるエアロゾル中の SO<sub>4</sub><sup>2-</sup>、NO<sub>3</sub><sup>-</sup>、NH<sub>4</sub><sup>+</sup>、および Ca<sup>2+</sup>のバランス
- 9:20-9:40 ○三好猛雄、高見昭憲（国立環境研）、下野彰夫（三友プラントサービス）、畠山史郎（国立環境研）  
春季における大気エアロゾルの観測
- 9:40-10:00 ○松本潔（神奈川大）、植松光夫、宇山悠紀子、早野輝朗（東大海洋研）  
西部北太平洋上における大陸起源エアロゾルの化学的変質—春季における八丈島・父島での観測から—
- 10:00-10:20 ○成田祥、植松光夫（東大海洋研）、鈴木隆生（ソエレック）  
無人海洋大気観測艇による三陸沖の大気成分測定—2003年春季における黄砂と森林火災の影響について—
- 10:20-10:40 ○堤之智（気象庁観測部環境気象課）、居島修（気象庁高層気象台）  
2002年3月から4月にかけて日本の4カ所のサンフォトメータにて観測されたエアロゾルイベントの解析について
- 10:40-11:00 ○原宏（東京農工大）  
東アジアの酸性雨

<11:00-11:15 休憩>

11:15-11:35 ○近藤豊、駒崎雄一、竹川暢之、宮崎雄三（東大先端研）、小池真（東大院理）、北和之（茨城大理）、廣川淳（北大地球環境）、横内陽子（国立環境研）、IMPACT 研究チーム

都市大気エアロゾルの挙動（IMPACT 観測のまとめ）

11:35-11:55 ○茂木信宏、近藤豊、駒崎雄一、竹川暢之、野上道守（東大先端研）  
東京都における元素状炭素、一酸化炭素の放出比

11:55-12:15 **[討論-人為起源の反応性気体・エアロゾル]**

ディスカッションリーダー：谷本浩志（国立環境研）、小池真（東大院理）

<12:15-13:30 昼食>

**13:30-15:30 ポスターセッション**

**[口頭発表] (発表 15 分、質疑 5 分)**

15:45-16:05 ○八代尚（東北大院理）、菅原敏（宮城教育大）、中澤高清、青木周司（東北大院理）、町田敏暢、井上元（国立環境研）

日本・西シベリア上空および北太平洋上における対流圏 CO 濃度の変動

16:05-16:25 ○斉藤拓也、横内陽子（国立環境研）

熱帯植物からの塩化メチル放出過程

16:25-16:45 ○猪俣敏、今村隆史（国立環境研）、鷺田伸明（豊橋技科大）

HO<sub>2</sub>-水錯体の生成過程に関する予備実験結果

16:45-17:05 ○川口慎介、工藤新吾、角皆潤、中川書子（北大院理）、蒲生俊敬（東大海洋研）

高感度・高精度 δ<sup>17</sup>O 測定法の開発：マルチインジェクション式 CF/IRMS

17:05-17:25 ○Frank Griessbaum (Ocean Research Institute, University of Tokyo), O. Klemm, T. Wrzesinsky (University of Bayreuth), H. O. Bauer (Vienna University of Technology)

A collector for cloud interstitial particles: First results from a Central European mountain range

<17:40-18:25 大気化学研究会総会>

<18:30-20:30 懇親会> 場所：生産研食堂 1 階

## 6月25日(金)

### [口頭発表] (発表 15分、質疑 5分)

- 9:00-9:20 ○河村公隆、渡辺智美 (北大低温研)  
低分子ジカルボン酸の安定炭素同位体比測定法の開発と大気化学への応用
- 9:20-9:40 ○持田陸宏、河村公隆 (北大低温研)  
バイオマス燃焼エアロゾルに存在する含酸素有機化合物の吸湿特性
- 9:40-10:00 ○萩野浩之、坂本和彦 (埼玉大院理工)  
アジピン酸を外部混合させた硫酸アンモニウム粒子の吸湿特性
- 10:00-10:20 ○三浦和彦、松下雄哉、柳武大祐 (東京理科大)、中村育代 (東大院理)  
都市および海洋大気エアロゾルの湿度特性
- 10:20-10:40 ○岩本洋子、新村典子 (東大海洋研)、笹井尚、三浦和彦 (東京理科大)、  
児島紘 (東京理科大)、中村篤博、植松光夫 (東大海洋研)  
海洋大気中における煤粒子の内部混合状態

- 10:40-11:00 **[討論-炭素性エアロゾル]**  
ディスカッションリーダー：持田陸宏 (北大低温研)、竹川秀人 (豊田中央研究所)

<11:00-11:15 休憩>

- 11:15-11:35 ○中島英彰、横田達也、杉田孝史、齋藤尚子、江尻省、笹野泰弘  
(国立環境研)  
ILAS-IIによる成層圏オゾン層観測初期結果
- 11:35-11:55 ○鈴木睦 (EORC/JAXA)、北和之 (茨城大)、今村剛 (ISAS/JAXA)、  
高橋幸弘 (東北大)、牛尾和雄 (大阪府大)  
静止軌道からの大気科学観測衛星 GOAL (Geostationary Observation of  
Atmospheric Chemistry and Lightning) 提案
- 11:55-12:15 ○野口克行 (EORC/JAXA)、今村剛、小山孝一郎 (ISAS/JAXA)、村田功  
(東北大)、富川喜弘、佐藤薫 (国立極地研)、中根英昭 (国立環境研)、  
Greg Bodeker (NIWA)  
成層圏オゾンの鉛直微細構造の時空間分布と起源
- 12:15-12:35 ○庭野将徳 (京大院理)  
Global distribution of tenuous cloud as associated with Kelvin wave and the  
Medden-Julian oscillation in tropical tropopause layer

<12:35-14:00 昼食>

**14:00-17:00** ポスターセッション

[ポスターセッション]

6月24日(木) 13:30-15:30、 6月25日(金) 14:00-17:00

- P-01 ○松枝秀和、澤庸介（気象研）、和田晃（気象大学校）  
上部対流圏におけるメタン濃度の分布と変動について
- P-02 ○中川書子、角皆潤、小松大祐、西村公男（北大院理）、蒲生俊敬（東大海洋研）、  
吉田尚弘（東工大院）、町田敏暢、遠嶋康徳（国立環境研）  
安定同位体組成から推定した東アジア地域における一酸化炭素・メタンの季節変動の原因
- P-03 ○佐伯田鶴（総合地球環境研究所）、Shamil Maksyutov（地球フロンティア）、  
中澤高清（東北大院）  
大気中メタンの濃度および炭素同位体比の数値実験
- P-04 ○所立樹、茅根創（東大院理）、渡邊敦（名大院）、灘岡和夫、田村仁（東工大）、  
野崎健、加藤健、根岸明（産総研）  
大気-海洋間のCO<sub>2</sub>交換速度の規定要因について
- P-05 ○和田晃（気象大学校）、澤庸介、松枝秀和（気象研）、堤之智（気象庁）、  
村山昌平（産総研）  
南鳥島における顕著なCO<sub>2</sub>濃度の低下現象とその要因
- P-06 ○須藤健吾（地球フロンティア）  
植物/人為起源メタノールの対流圏オゾン・OH ラジカル濃度場への影響
- P-07 ○五十嵐康人、澤庸介（気象研）、吉岡勝廣（島根県）、藤井憲治（関西総合環境  
センター）、高橋宙、松枝秀和（気象研）、土器屋由紀子（江戸川大）  
富士山頂におけるSO<sub>2</sub>濃度の季節変動
- P-08 ○吉岡勝廣（島根県）、五十嵐康人、澤庸介（気象研）、長田和雄（名古屋大）、  
土器屋由紀子（江戸川大）  
自由対流圏内の富士山頂と乗鞍岳での大気ラドン濃度の空間分布
- P-09 ○中村篤博、植松光夫（東大海洋研）  
東アジア大陸から東シナ海上への物質輸送とメタンスルホン酸の挙動
- P-10 ○出口清児、近藤豊、宮崎雄三、森野悠（東大先端研）  
バイオマス燃焼起源のBlack Carbon除去過程（TRACE-P観測）
- P-11 ○白井知子（JAXA）、Donald R. Blake、Nicola J. Blake、Simone Meinardi、F. Sherry  
Rowland（カリフォルニア大アーバイン校）、John Chan（香港工科大）、竹川暢之、  
近藤豊（東大先端研）、小池真、中村尚（東大院理）、北和之（茨城大）、川上修司、  
小川利紘（JAXA）  
日本近海における冬季から春季にかけての非メタン炭化水素類・ハロカーボン類  
等の分布の季節変化-PEACE (Pacific Exploration of Asian Continental Emission) 航  
空機観測結果より
- P-12 ○中村憲司、近藤豊（東大先端研）、小池真（東大院理）、竹川暢之（東大先端研）、  
北和之（茨城大）、宮崎雄三（東大先端研）、D. Jacob、R. Hudman（Harvard大）、  
G. Chen（NASA）他 PEACEサイエンスチーム

- 北太平洋域の光化学的オゾン生成に対する大陸起源物質の影響
- P-13 ○大島長、小池真、中村尚（東大院理）、近藤豊、竹川暢之、宮崎雄三（東大先端研）、D. R. Blake（カリフォルニア大アーバイン校）、白井知子（JAXA）、北和之（茨城大）、川上修司（JAXA）、G. Chen（NASA）、小川利紘（JAXA）  
春季東アジア域において自由対流圏中へ輸送された空気塊の化学的性質－PEACE-B 航空機観測－
- P-14 ○齊藤伸治、永尾一平（名大院）  
都市における冬季から春季の非メタン炭化水素類の濃度変動特性
- P-15 ○加藤俊吾、市川雅子、林一郎、梶井克純（東京都立大）  
大都市大気の海洋上での影響～大島におけるテスト観測～
- P-16 ○奥田知明、天目真樹、須田悠介、勝野正之、直井大輔、西谷内光春、田中茂（慶應大理工）、K. He、Y. Ma、F. Yang、X. Yu、F. Duan、Y. Lei（清華大学）  
中国北京市におけるエアロゾル中微量金属及び水溶性イオン成分の測定
- P-17 ○児玉大輔、近藤豊、竹川暢之、宮崎雄三、駒崎雄一（東大先端研）、洪天祥（環境モニタリング新技術研究センター）  
韓国、済州島のエアロゾルの特徴-起源による組成の違い
- P-18 ○古賀聖治、前田高尚、兼保直樹（産総研）  
エアロゾル粒子中で黒色炭素濃度が占める割合の発生地域別比較
- P-19 ○小池真、朝野晃司（東大院理）、近藤豊（東大先端研）、横内陽子（国立環境研）、竹川暢之、駒崎雄一、宮崎雄三（東大先端研）  
陽子移動化学イオン化質量分析計（PTR-MS）による都市域揮発性有機化合物の観測
- P-20 ○駒崎雄一、野上道守、近藤 豊、竹川暢之、宮崎雄三（東大先端研）、小池真（東大院理）  
都市大気中における微小粒子および不揮発性微小粒子の粒径別数濃度
- P-21 ○竹川暢之、近藤豊、駒崎雄一、宮川拓真（東大先端研）  
質量分析計による都市大気エアロゾル観測
- P-22 ○宮川拓真、近藤豊、竹川暢之、宮崎雄三、駒崎雄一（東大先端研）  
東京における硫酸塩エアロゾルの濃度、粒径分布の季節変化
- P-23 ○森野悠、近藤豊、駒崎雄一、竹川暢之、宮崎雄三、茂木信宏、宮川拓真（東大先端研）、北和之（茨城大）、廣川淳（北大地球環境）  
硝酸のガス－エアロゾルの分配比の支配要因
- P-24 ○野上道守、近藤豊、駒崎雄一、竹川暢之（東大先端研）  
都市域における有機性炭素と元素状炭素の季節変化
- P-25 ○奥田知明、天目真樹、須田悠介、勝野正之、直井大輔、西谷内光春、田中茂（慶應大・理工）、近藤豊、竹川暢之、駒崎雄一（東大先端研）  
東京都心部におけるPM2.5及びPM1.0中の微量金属と多環芳香族炭化水素類の同時分析
- P-26 ○福田真人、近藤豊、駒崎雄一、竹川暢之、森野悠、宮川拓真（東大先端研）  
都市域における窒素酸化物の挙動に関する研究
- P-27 ○座間公夫、近藤豊、原伸樹（東大先端研）、若松伸司、菅田誠治（国立環境研）  
夏季の関東平野における光化学オキシダント濃度変化と広域海風の関係

- P-28 ○成川正広、丸本幸治、坂田昌弘（電力中央研究所）  
冬季東京湾における表層海水から大気へ放出される揮発性水銀の定量
- P-29 ○吉野彩子（東京都立大）、定永靖宗（国立環境研）、吉岡篤史、渡邊敬祐、加藤俊吾、宮川祐子、市川雅子、林一郎、松本淳、西山綾香、秋山成樹、梶井克純（東京都立大）  
東京郊外における大気中 OH ラジカル寿命観測
- P-30 ○秋山成樹、西山綾香、松本淳、加藤俊吾、梶井克純（東京都立大）  
汎用型大気中 NO<sub>2</sub> 測定装置の開発
- P-31 ○今井秀和、小杉如央、松本淳、梶井克純（東京都立大）  
レーザー誘起蛍光法による NO<sub>3</sub> 測定装置の校正手法の確立
- P-32 ○宮川祐子、加藤俊吾、梶井克純（東京都立大）  
OVOCs 測定時の PTR-MS のキャリブレーション
- P-33 ○谷本浩志、猪俣敏、定永靖宗（国立環境研）、廣川淳（北大）  
PTR-TOF-MS を用いた大気中有機化合物の高速多成分測定装置の開発計画
- P-34 ○澤田寛巳、武田朋、福田克彦、竹中規訓、坂東博（大阪府大院）  
夜間大気ラジカル発生源に関する実験的検討：オレフィン-NO<sub>3</sub> ラジカル反応からの過酸化ラジカル生成能評価
- P-35 ○笠井康子（情報通信研究機構）、斉藤龍（Max Planck Institut fur Aeronomie）  
H<sub>2</sub>O-O<sub>2</sub> 錯体の大気中における存在量とそのふるまい
- P-36 ○瀬戸口修、佐藤優（産総研）  
CX<sub>3</sub>C(O)O<sub>2</sub>+HO<sub>2</sub> (X=H,F) 反応の理論化学的研究
- P-37 上田純也、江波進一、○橋本訓、川崎昌博（京大院工）、中野幸夫（広島市大）  
CRD 分光法によるオゾン Wulf 帯の吸光断面積の高精度測定
- P-38 ○高橋けんし、中山智喜、松見豊（名大 STE、名大院理）、長村吉洋（立教大理）  
上部対流圏でのアセトンの紫外光解離：H 原子の生成
- P-39 ○中山智喜、高橋けんし、松見豊（名大院理、名大 STE）、  
W. R. Simpson (Univ. Alaska, Fairbanks)  
PAN の光分解における NO<sub>3</sub> 生成量子収率測定
- P-40 ○西田哲、竹谷文一、高橋けんし、松見豊（名大院理、名大 STE）  
成層圏大気の窓領域でのオゾンの光分解に関する新たな知見
- P-41 ○竹谷文一、高橋けんし、松見豊（名大院理、名大 STE）  
ハロカーボン類の光分解で生成する塩素原子の量子収率測定
- P-42 ○關金一、中川勝喜（横浜国立大）  
ClONO<sub>2</sub> の低温固相における光化学：FT-IR による生成物の直接観測
- P-43 ○江波進一、橋本訓、川崎昌博（京大院工）、西田哲、松見豊（名大 STE）、須磨航介、住吉吉英、遠藤泰樹（東大院総合文化）  
成層圏における ClOO の反応
- P-44 ○森田明弘（分子研）、金谷有剛（地球フロンティア）、Joseph S. Francisco (Purdue Univ.)  
HO<sub>2</sub> ラジカルの取り込み係数：分子動力学計算および対流圏大気モデルへの影響
- P-45 ○伊藤隆洋、大熊美穂、原野安土、宝田恭之（群大工）  
EDB を用いた NaBr 微小液滴の反応



- P-46 ○原野安土、赤星央、宝田恭之（群大工）  
EDB を用いたナトリウム系単一微小粒子と SO<sub>2</sub> の反応機構の解明
- P-47 ○佐藤優、瀬戸口修（産総研）  
大粒子の前方散乱光中のクリスチャンセン帯域の消光特性の実験的決定
- P-48 ○反町篤行、高田尚枝、堀田陽一、金子貴幸、佐々木大樹、坂本和彦（埼玉大院理工）、石原日出一（埼玉大工）  
黄砂粒子と大気汚染物質の不均一反応に関する研究
- P-49 ○持田陸宏、河村公隆（北大低温研）  
札幌における大気エアロゾル粒子の吸湿特性の測定
- P-50 ○北森康之、家田曜世、持田陸宏、河村公隆（北大低温研、エコニクス）、藤沼康実、犬飼孔（国立環境研）  
ジカルボン酸およびイソプレン酸化生成物の粒子/ガス相の分布と日変化：2003年森林大気観測結果
- P-51 ○竹川秀人、箕浦宏明（石油産業活性化センター）、山崎哲（豊田中央研究所）  
NO 共存の影響を考慮した二次有機エアロゾル生成能のモデル化
- P-52 ○山中のり子（奈良女子大）、芝田由香里（パナソニック MSE）、久慈誠、林田佐智子（奈良女子大）  
紫外域観測衛星センサを用いた対流圏エアロゾル推定手法に関する研究
- P-53 ○太田絵美、林田佐智子（奈良女子大）  
人工衛星データを用いた対流圏 NO<sub>2</sub> の推定
- P-54 ○戸田庸子、池田奈生、林田佐智子（奈良女子大）、中島英彰（国立環境研）  
夏季極域での光化学分配～OH 導出の試み～
- P-55 ○池田奈生、戸田庸子、林田佐智子（奈良女子大）  
光化学ボックスモデルを用いた冬季北極極渦内での NO<sub>y</sub>, Cl<sub>y</sub> 分配比率の推定
- P-56 ○香川晶子、笠井康子、村山泰啓（富士通エフ・アイ・ピー、情報通信研究機構、国立極地研）、Frank Murcray（Univ. of Denver）  
ポーカーフラット上空における成層圏大気微量成分の季節変動
- P-57 ○長浜芳寛、鈴木勝久（横浜国立大）  
FTIR を用いた中緯度成層圏大気微量成分の変動観測
- P-58 ○村田功（東北大環境）、中根英昭（国立環境研）、福西浩（東北大理）  
フーリエ変換型分光計を用いた大気微量成分高度分布観測における装置関数補正
- P-59 ○宮崎和幸、岩崎俊樹（東北大院理）、柴田清孝（気象研）  
対流圏・成層圏オゾン子午面輸送特性の季節変化
- P-60 ○野口克行（EORC/JAXA）、今村剛、小山孝一郎（ISAS/JAXA）  
下部成層圏における慣性重力波砕波に伴うオゾンの鉛直混合

## その他

若手サイエンススティアリングミーティング

日時：2004年6月26日（土） 09:00-15:30

場所：東京大学先端科学技術研究センター3号館中2階セミナー室

# 先端研の構内配置図と各会場場所

